

小学校5年生

加藤真人

masato kato

僕は今、菌類のきのこに興味を持っています。毎年夏は軽井沢に行って、きのこ採集をしているし、千葉きのこ観察会にも参加して、集められたきのこを見るのを楽しみにしています。こんな僕ですが、きのこに興味を持ち始めたのはずっと前の事なのです。



千葉房総風土記の丘 2000/7/9

幼稚園の年長の時に、何故かきのこが好きになりました。きっかけは覚えていないのですが、それは別として、この年からきのこを探し始めました。きのこを探しているうちに、いろいろなきのこに出会い、ますますきのこが好きになっていったのです。きっと、色の綺麗なきのこや、形の立派なきのこに出会い、きのこの魅力にひかれていったのでしょう。

夏が終わり東京に帰ってからも、お母さんにきのこ図鑑を買ってもらって夢中で見ていました。今も楽しく見て読んでいます。しかし、見るだけに飽きたらず、今度はノートに図鑑のきのこを順番に絵に描いていった事もありました。サルノコシカケ等の硬いきのこは余り好き

じゃなかったので、きのこらしいハラタケ目のきのこを中心に描きました。家には、僕が描いたきのこの絵のノートが8冊くらいあります。

その年に近くの図書館できのこの本を探していると、「きのこはげんき」という本を見つけました。その本は、ソライロタケの様な美しいきのこから、きのこをお菓子に擬態させて、面白い言葉を入れたりしている、とても愉快で楽しく読める本でした。とにかく写真が素晴らしいです。その写真は、現在世界的に活躍しているいらっしゃる写真家の、伊沢正名先生が撮ったものだと分かりました。そこで、もっと多くのきのこに出会いたいと思って、伊沢先生に「きのこの会があったら教えてください」と手紙を書きました。そうしたらお返事で、千葉菌類談話会を紹介して頂き、早速入会してその年の観察会から参加しました。

次の年、雑誌で長野県須坂市菅平のペンションきのこを知って、秋に行ってみました。そこは、置き物や飾り物、クッション等、皆キノコの絵が描いてあったりしていて、木材構造の建物は寝心地も良かったです。

それから、何回かペンションきのこを訪れたのですが、99年に行った時は、お客様が僕達だけで、ペンションきのこの主の小宮山さんに色々なきのこの出る場所に連れて行ってもらえたので凄く嬉しかったです。

それからもどんどんきのこが好きになり、学校の作品展という行事では、1年生の時は、きのこの紙工作、2年生の時は軽井沢で見つけたきのこのノート、3年生の頃は、タマゴタケのちょっとしたレポート、4年生の時はきのこの

仕組み等を説明したレポート、そして5年生の現在も自由研究にきのこの採集レポートをやりました。

東京ではきのこを探す機会なんか滅多にないから、いつも千葉のきのこ観察会に行く時は楽しみです。あれこれもう6年程参加しています。その間に、色々な思い出がありました。

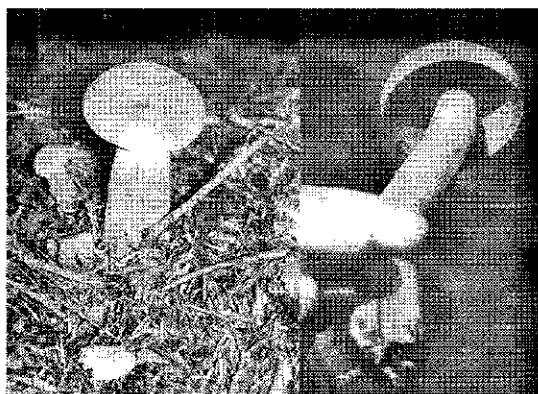
土の上に草が生えていた所を僕が見て回りました。そうしたら、きのこは何もありませんでした。しかし、後から来た人達がそこを探して



いると、次から次へとタマゴタケが採れていたのです。その時はとても悔しかったです。でも、今となればいい思い出です。また、おじさんからクワガタ虫をもらった事もあったし、最後の最後でハラタケを見つけた事もありました。

感激した事、悔しかった事、残念だった事と沢山の思い出があります。

僕は、これからももっときのこを好きになって、詳しくなりたいです。



トリュフを使った料理格安販売

小沼 良子

通販会社のベルーナが、トリュフを使った総菜の格安販売を始めたと日経新聞で紹介されていました。総菜は6品をセットにし、同社「グルメ友の会」の会員向けに発売。価格は4,980円。セット内容はトリュフの味噌漬け、トリュフ入りスライスハム、和牛入りトリュフウインナ、こがね餅入りトリュフウインナ、フレークトリュフ、トリュフ入りチョコレートの6品。調理レシピ付き。人工トリュフの生産が可能になったため低価格販売が実現したとのことです。手に入れて、ちょっと食べてみたいです。

グルメ友の会には随时無料で入会できるそうです。問い合わせは電話0120-307-963